



友愛

題字 前渊 幸信

【理念】自分を愛するようにあなたの隣人を愛しなさい



高齢者あんしんサポートハウス 地域の方もお招きしてのコンサートにて

社会福祉法人 友愛会



亀岡友愛園

〒621-0251 京都府亀岡市本梅町平松ナベ倉12番地

TEL: 0771-26-2115(代) FAX: 0771-26-3557

《特別養護老人ホーム》 TEL: 0771-26-2115 FAX: 0771-26-3557	《デイサービスセンター》 TEL: 0771-26-5432 FAX: 0771-26-3557	《居宅介護支援事業所》 TEL: 0771-26-0039 FAX: 0771-26-5929	《亀岡地域包括支援センター友愛園》 TEL: 0771-26-0056 FAX: 0771-26-5929
---	--	---	---

《ホームヘルプステーション》 TEL: 0771-26-2115 FAX: 0771-26-3557	《高齢者あんしんサポートハウス》 京都府亀岡市本梅町平松原谷24-2 TEL: 0771-26-2310 FAX: 0771-26-0880
--	--

地域密着型事業 すずらん

〒621-0806 京都府亀岡市余部町中条17番地

グループホーム 小規模多機能ホーム TEL・FAX: 0771-20-2840

社会福祉法人友愛会 後援会 振替口座 01030-8-42554 <http://www.yuaien.or.jp>

活

躍

す

る

・・・

友愛会宝箱



理事長
前瀨 幸信

なせばなる

社会福祉法人友愛会では毎月一日の日に、その月に正規雇用される職員の辞令式がとりおこなわれます。辞令式では、前瀨理事長から言葉が添えられます。「一緒に頑張って活躍して下さい、そして『あなた方は友愛会の財産です。宝物です。』」という言葉が必ず職員へ贈られるのです。

この宝物が集まった『宝箱友愛会』の創まりは「何かやりたい！やろう！」と満身の希望を持った一人の若者の強い思いからでした。

昭和46年今から半世紀ほど前の9月、亀岡の地で「老人ホーム建設活動」の幕を開いたのがこの若者、前瀨幸信理事長です。

老人ホームを建てるにも、建設資金もない、建設用地もない、何から始めたらよいかわからない、ないない尽くしの雲をつかむような話に賛同してくれる人も、支援してくれる人もいませんでした。

それでも、一に努力、二に忍耐、理事長の歩みはじわりじわりと周りの人達を動かすエネルギーとなっていました。

まずは、建設資金を蓄えるためのタオルシーツの販売です。ファイト満々の仲間たちと一緒に安価な仕入先探しです。断られたらまた考える知恵と工夫で、バックアップしてくれる織物問屋さん達や、販売ルートを開拓してくれた婦人会の皆さんとの繋がりという財産を導き出しました。

また、一転二転と4年の歳月を費やしても尚、何度も挫折を繰り返す建設候補地では、夜明けまで地元の方々の話し合いに尽力された支援者の熱意が、切羽詰まったその局面をひるがえしました。

何故か、暖かい心根の人達にめぐりあうことが出来た不思議な縁は、多くの宝物をこの老人ホームに授けてくれました。物を売って富となり、人が動いて道となり、長い年月をかけてやっと老人ホームが在り場所に完成しました。

「お父さん、お父さんやったらやれるわ」と最後まで見守り続けた今は亡き奥様やお母様、時にはぶつかり合いながらも共に戦ったといっても過言ではない伝道師達、皆さんのひたむきな姿に心を動かされた地元の方々や、遠くからでも応援してくれている多くの人たちの環で、今の友愛会が創造されていたのです。

「思うだけではだめです、考えること、私に何ができるか、本当に大切なことは、命をかけて人を思いやる優しい心です。いい話ができなくともよろしい、まずくてもよろしい、聞いてくれる皆さんがいてくれるから伝わるんです。」と、長い間ありがたく頂戴した感謝の記憶を、85歳になった理事長は今もこの亀岡の地域に在りて語り続けています。これからもずっとずっと・・・



歌声でいきいきサロンめぐり



依頼を受けたボランティア団体の祭事に「みんなで歌おう」ギター伴奏しています。約一時間、童謡唱歌、昔懐かしい演歌等なじみの歌を一緒に歌います。

NTTで「人と人との意思をつなぐ」役割を長年担ってきたことは、やりがいのある仕事でした。

定年後は親の介護もあり、まったく経験のない「福祉」を知りたいと思い、体験と勉強をすることに意義を感じ、また私の信条「働くことは生きることの根源」との想いで応募しました。

現在は介護の現場を勉強し、多くの貴重な経験をさせて頂いており、今後の歩みや福祉活動に活かしていきたいと思っています。

桑田氏の好きな言葉 「降りつもる 深雪に耐えて 色変えぬ
松ぞ雄々しき 人もかくあれ」



活動を続けていて
よかったことば みんな笑顔で
一緒になって元気に歌い、
「また来てね」と声をかけて
貰うときです。

桑田 昭氏

挽きたて淹れたて絶品珈琲♪



サポートハウスご利用者の平田さんは、友愛園に入所される前までは 喫茶店をされていました。厳選された豆をその場で挽き、淹れて下さるコーヒーの美味しいこと！



亀岡市社会福祉協議会の依頼で「ハートフェスタ」に出前喫茶店「平田屋」を出店。訪れた皆様に大好評で100杯を見事に完売♪

ご近所をお散歩されているうちに、地域の皆さんと親しくなられた平田さん。「ぜひ平田さんの珈琲を飲んでみたい」との声を受け、ご近所の方に来ていただいたのが、5月のこと。

美味しい珈琲をいただきながら、みなで楽しめるものを、と考え、現在は月一回「喫茶&カラオケ交流」を実施しています。



徐々に近く、そして広がっていった地域の方との輪は、たくさんの「助けていただく」「ともに楽しむ」ことに繋がっています！

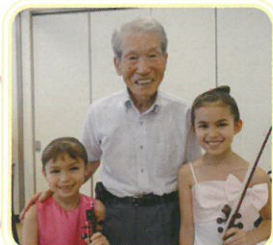


花の植えかえなどサポートくださる地域の方々

高齢者あんしんサポートハウス亀岡友愛園

おかげさまで、地域の方々、ボランティアの方々、様々な場所で活躍されているたくさんのお力をいただきながら、一年がたちました。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。見学・ご相談など、どうぞお気軽にお声かけください。

❤️ありがとう🍵





週に3回、入浴と、夕ご飯を召し上がりにサポートハウスにお越しになる「山内喜久治さん」。お風呂場のお掃除や、草刈りをかけてくださったり、殺風景な駐車場にコスモスを植えてくださったり、季節の花や果物を届けてくださったり・・・折に触れて、優しい気遣いをいただいています。

そんな山内さんのお住まいの「畑野町」。

亀岡友愛園より、さらに山の中へ・・・亀岡に生まれ育ったものにとっても「瑠璃溪温泉の近く」「雪が多い？」位の知識だったその場所ですが、不便な場所にもかかわらず、なんだかお元気な高齢者がたくさんおられるご様子！

今回、そんな畑野町で活躍されている方々とお会いすることが出来ました。

「畑野のええとこ？ 空気がいい笑 あとは芸達者な人が多いわ」



若者に頼るとか、行政に何とかしてもらおうとか『誰か』に何とかしてもらおうと考えるのではなく、『自分たちで』健康長寿をめざす町づくりを、と語る自治会長の山内 安さん。



畑野町の歴史は古く、先祖代々何百年と続いてきた家も。一時期は世帯数が80軒ほどに落ち込み、限界村落となったが、戦争時には疎開先として、畑野小学校の児童数が400人を超えることもあった。その後、大手の建設会社の参入で住宅地が増え、現在の畑野町民人口は2000人強。

亀岡市外からは車で30分～、公営水道になったのは4年前、金融機関はなく、診療所は週一回・一時間半のみと、不便なことが取り上げられることも多い畑野町ですが、お話を伺った皆さんがおっしゃるのが、

「不便は不便。でも、楽しんで生きなな！」

出来る人が出来ることをする。例えば、車で送迎が不可欠なこの地において、運転の出来る人が送り迎えをしてくれることで、仲間と会える。仲間が増える。メンバーの高齢化や、地の方、新興住宅地など地域によつてのつなりの難しさを感じることもあるとおっしゃるが、そんな中でも、民生委員さんをはじめ、「マメに動き」支えてくださる人たちやグループの存在が、畑野の地での暮らしを豊かに出来る一番の強みかもしれない。



地域で一番大きなサロン「やまびこ会」さん



ゆっくりおしゃべりの出来る「ふれあいサロン」、カラオケや将棋、マーじゃんなど、曜日ごとに企画。男性の参加できるサロンが少ない中で、土曜日に開催される「マーじゃん」には、愛妻弁当を携え男性陣が一日中和気あいあいと過ごされる。年一回の日帰り旅行も実施。



畑野の高齢者人口に対して、まだまだ参加者は少ない。地域ごとに「声かけ運動」をして、メンバーが100人を超えることが目標、と会長の山内秀雄さん。



畑野の町おこしとして始められた「銭太鼓」は10年以上続いておられる。週一回練習を重ね市民文化祭や様々な場所へのボランティア訪問で披露されています。畑野小学校でも、課外授業として子供たちに「銭太鼓」の楽しさを広めておられます。

おしゃれで元気! 「サポート畑野」さん

平成9年に自治会長さん、亀岡市社会福祉協議会、介護に興味のあるボランティアさんなどで立ち上げられた『サポート畑野』さん。現在は毎週火曜日に、手芸や体操、習字など「そのときやりたいこと」を楽しまれています。



集える場所があるというのは嬉しいこと。お互いに支えたり支えられたり・・・自由なやり方でしてきたので、続けてこれました、と会長の山崎美代子さん（写真中央）。

畑野の「およめさん」はたくましい。「外から来た人がほとんどで、横のつながりを作り上げていくしかなかった」しっかりと根を張り、生き生きと過ごしておられる姿はとてもパワフル。そして、皆さん、とってもおしゃれ♪



「それ、おいそう」
「これは手作りよ」お昼は持参のお弁当と持ち寄りのおかげでワイワイ楽しく♪



取材当時の民生委員さん



地域活動に参加できにくくなった方のお家に訪問し、その方の思いを引き出せたらいいなと思います。

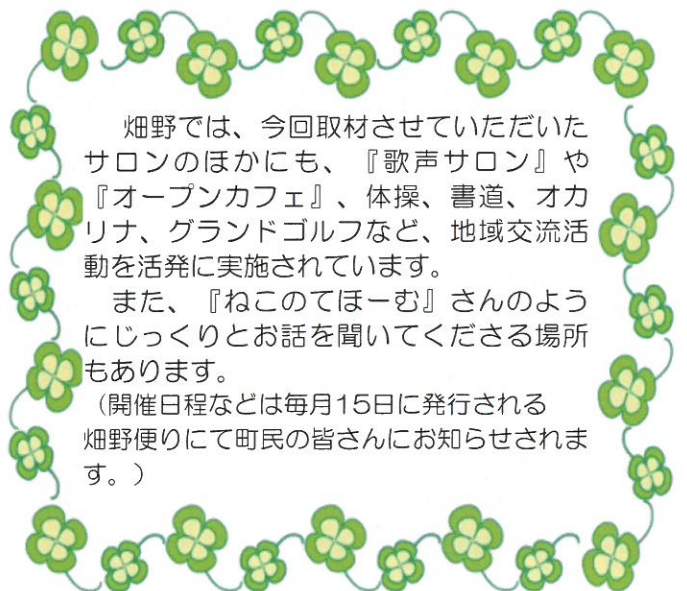
畑野町はハザードマップでも危険箇所の多い地域ですので、備えをどのようにしていくかも課題です。

「どこで終末を迎えられるか、どのような終末を迎えられるか。」

それまでの日々を『どう過ごすか』 便利な場所を探すのか、一人で過ごすのか、それは、自分たち次第。

『これから』と『今』を幸せに、自分らしく生きるために『自分たちで』やってみることに。

畑野で出会った皆さんの言葉は、シンプルでとても力強い『生き方』のメッセージとなって響きました。



畑野では、今回取材させていただいたサロンのほかにも、『歌声サロン』や『オープンカフェ』、体操、書道、オカリナ、グランドゴルフなど、地域交流活動を活発に実施されています。

また、『ねこのてほーむ』さんのようにじっくりとお話を聞いてくださる場所もあります。

(開催日程などは毎月15日に発行される畑野便りにて町民の皆さんにお知らせされます。)

地元の老舗の〇〇〇

地域に根ざして、そこにお暮らしの方々を支えておられる「お店」があります。コンビニやネットショッピングも当たり前となってきた「今」において、なお地域の方に「あてにされる」そんな存在。
今回は、友愛園にゆかりのある地域で、時代に合わせて変化されながらも、長きにわたって活躍し続けておられる4つのお店に取材させていただきました。

余部町

野原豆腐店さん

< 昭和8年、野原一馬さんが創業（小売も卸しもされています） >

一馬さんが戦争に行くことになり、奥様がお店を切り盛りされてきました。昭和31年には奥様が他界され、息子の武男さんと輝子さんが結婚し、跡継ぎになりました。



今回は輝子さんにインタビューさせていただきました。現在83歳でお孫さんと一緒に配達をされています。自分の健康のためといわれていましたが、お客さんとの顔を合わせた関係をととても大切にされているような気がしました。



配達で使っておられた車

昔は新聞や雑誌にお揚げを包んだり、豆腐を買いに来る人が容器を持ってこられ販売されていたようです。スーパーが出来てからは、買いに来る人は少なくなりました。

以前は友愛園にもお豆腐をおろされ、繋がりがあつたことを知りました。余部町にはお菓子屋さんやお肉屋さんなど他にもありましたが、現在はされていないところが多いです。

お孫さんにもお話を聞くと、ラグビーをされていてお腹がすいた時は厚揚げ豆腐を食べていました。また、輝子さんもラグビーの試合を見に来てくれると話してくださいました。

本梅町

かね新さん



小林新三郎氏

明治36年、初代小林新三郎さんが創業。裸一貫、何も無い土地を開墾し、荷車の行商から始められました。その後自宅を改造してお店としてオープン。（今の店舗は、3代目。）



現在の「大将」博一さんは、先代の甥っ子にあたり、若いころお店の手伝いに来ていたところ、先代に見込まれてあとを継がれました。

大将いわく、以前は村や町それぞれに「商店」があり、たくさんの商店と共同仕入れをしていた時期もあったが、高齢になり、後継者が見つからず、やむなく閉店となった店も多いとのこと。

《 地域密着でなりたつ仕事・・・相手のニーズにこたえる。あてにされてこそ。》

インタビューの中で大将から出てきた言葉。「お客さんにはしっかりと話を聞き、自分の目で納得して買い物をして貰いたい。なので、自分で歩いてこられない方を送り迎えしたり、電話で聞いて配達も引き受けている。」サポートハウスにも、出前販売に来てくださったり、一日に何度も電話注文の配達をしてくださったりと、ご利用者にとってもなくてはならない存在。



今は毎日、丹波口まで仕入れに行かれており、店舗のほか、本梅・別院の保育所の給食材料も担っておられる。定休日の月曜も仕込みなどで忙しい。

この何年かで3連休をとれたのはご自分の手術のときだけだというが、「みなが休みのときにあてにされてこそ」と笑顔でおっしゃる大将と、大将を支える娘さんファミリー。

地域に大事にされて続けていける、との言葉は、「地域を大事に」されている「かね新」さんだからこそ、と感じました。

畑野町
山内
商店さん

昭和24年創業。当初は魚屋さんで、今の店主さんの祖父である「金次郎さん」が、自転車で安町にあった市場まで仕入れに行っておられました。（干ヶ畑の金次郎さんのお店ということで、「千金さん」と呼ばれていたそうです。）



15年前、畑野小学校の前の道を広げるために現在の場所へ移転となり、コンビニとしてリニューアルされた店内は、明るく広くて品揃えも豊富。「お店に用事がなくてもお話しにこられる方もおられ、地域の方々となじみの関係が作れていると感じるときは幸せに思う」とおっしゃる店主の山内寿之さん。穏やかな口調にほっこり・・・ふっと立ち寄りたくなる気持ちがわかります♪



当店自慢の塩豆大福は、あんこと塩豆たっぷりです。食べ応えあり！柔らかくてとっても美味しいです。（よもぎ味もおススメ！）



西田商店歴史物語

宮前町
西田
商店さん

22歳でお嫁入りした『西田商店看板娘』みやこさんも、もう71歳になりました。『西田商店』は、おばあさんの代に「女子」でもできる『家商い』をと考え、当時は『香ばしい手作り豆腐』と、『下駄の鼻緒をすえる男下駄』を売っていました。お豆腐は遠くからでも買い付けにくるお客さんや、「土産は西田商店のお豆腐にしようか」というほどの人気で自慢の一品でした。

『男下駄』は、地元の盆踊りの履物には無くてはならない代物です。300年の歴史を持つ『丹波音頭』が地元でも盛んで、当時の盆踊りでは、この下駄技の「すったり」「飛んだり」「跳ねたり」「飛ばしたり」がステイタスでした。もちろん、下駄の鼻緒が切れたり、傷んだり頻繁で、この『男下駄の鼻緒据え付け商い』は当時の踊り手には随分と重宝された様子でした。



みやこさんは今でも「平和祭り」でこの『丹波踊り』を披露されているとのことでした。

みやこさんがお嫁入したころの商いはえらい繁盛していましたが、国道372号線整備の影響で、ガラッと人や車の流れは変わりました。



お客さんの数も徐々に減り、コンビニ世代と時代の移り変わりで、今では「女一人ぼちぼち開けたり閉めたり自由なお商売させてもらっています」と、みやこさんのニコニコ笑うケロリン節が印象的でした。

みやこさんのお姑さんは97歳で亡くなりましたが、96歳まで『西田商店』の名物おばあさんだったそうです。お客さんが来店すると、お店の奥から「ちょっと嫁さんに怒られるかも～」とひょこっと出てきては「わたし、もう百ですもん」と接客するらしく、まだ96歳やいうって「百ですもん、百ですもん」と百年万歳！！おばあちゃんでした。



みやこさんとおばあさんは、嫁姑ではなく「親子みたい」とご近所さんに言われるくらいとても仲の良い親子でした。

みやこさんは『この人の良い所を見る』主義なので、遊びもせず、商いの為に生まれてきたようなおばあさんの姿をみて、「あ～おばあさんには勝てんな～。味付けも、お料理も、お漬物も。おばあさんのように作らなあかん～。おばあさんはきつと嫁に気いつこてるやろうな～。わたしの不足は聞いたことがない」とおばあさんの思いについていくと、親戚からは「あんたは良い嫁やな、おばあさんがいうてたよ。ありがとう」と感謝されて、おばあさんのおかげで親戚の人に大層褒められて、それが嬉しくてまたおばあさんが好きになって・・・。

そんな巡りで子供達（孫）もおばあさんを好きになってくれました。

今『西田商店』はみやこさんが守をしています。

香ばしいお豆腐も男下駄もありませんが、みやこさん手作りの惣菜を一舟二舟おいてはります。美味しい牛乳もわけてくれました。

惣菜も牛乳も美味しいですが、何よりの御馳走は「みやこさんの笑顔と楽しいお話」でした。

はりきり工房 桑山邸

亀岡友愛園から北へ5km、宮前町。
定年退職後、都会から移り住まれた「桑山さん」が「地元の人のために使って欲しい」と古民家を当法人へ寄付していただいたのは平成21年のことでした。

土から繋がるコミュニティー



亀岡西部に広がる田園地帯で、今年やっと活動を実現できる時が来ました。
私たちは、この活動拠点をお年寄りも子供も女性も男性も誰もが気軽に立ち寄れて何か作り出せる場所になればと「はりきり工房 桑山邸」と名づけました。

作り出すとは、会話でも、人と人の繋がりでも、アクセサリー作りでも、パン作りでも、何でもいいんです。皆さんが自分の意思で集まり、そこで営まれる活動は「新しい」ことも「古い」ことも全て創造となります。

『はりきり工房 桑山邸』で、「嬉しい」「楽しい」と思っていただけの活動は『今、地域の皆さん方と』歩みだしました。



自分で作って食べる



桑山邸に集まった私たちはパンを焼いています。
『おいしい』の笑顔を見たいから、パンを焼いています。先日施設職員のお子さんたちを招いて『パンつくり体験』を行いました。

さらさら、ねとねと、べとべと、ぐにゅぐにゅ、ふわふわ、と段階的にパン生地がどんどん変わっていく様子を、キラキラした瞳で記憶しました。3歳、4歳、7歳の子供たちです。

生まれて初めて、お父さんと、お母さんと一緒にパンを焼いた『思い出』は、この子供たちの未来にどう繋がっていくのかとても楽しみです。

出来のよし悪しはあっても『出来上がった焼きたてのパン』は最高の『ごちそう』です。いただきます。



子供たちは、みなさん、ペろりとたいらげてしまいました。
おうちに帰ってからのお父さんのお仕事は？いつのまにか『パン屋さん』になっていたそうです。
色々な素晴らしい体験を未来の子供たちに託していくのは、私たち大人の仕事だと思っています。

色いろいろ

私たちは『き・れ・い』なものも創っています。

カラーセラピーで健康に役立っている感アップです。
これは職員さんにも好評なプログラムです。



『リボンチャーム』は人気もの♪
色とりどりのリボンを「編んだり」「縫ったり」「結んだり」で創る小物教室です。
出来上がりはかなりの興奮です！
また「やりたい」の声をいっぱい聞きます。
幸せな気分でお子さんからお年寄りまで誰でも満足感ばっちりのプログラムです。

育てて成った



私たちの桑山邸に始めて暑い夏がやってきました。

桑山邸の広～い庭に、欲張って色んな苗を植えたから、夏野菜のジャングルは生い茂っています。あちらこちらからつるが伸び絡まって足の踏み場がありません。地元のお年寄りの知恵を拝借していましたが、農業未経験の私たちの『畑』はとにかく、『草』と『蚊』と『カラス』と、『得体の知れない作物を食い荒らす動物』の住みつくジャングルです。

野菜って毎日、いやいや、数時間後には面白いように大きく育ちます。7月には、私たちのジャングル畑も収穫！収穫！収穫！だらけになりました。きゅうり、きゅうり、ピーマン、万願寺唐辛子、ピーマン、またきゅうり、怪物きゅうりに青トマト（赤くなる前の）、白もろこし（黄色くなる前のとうもろこし）。収穫前のトウモロコシがありません。穂がなぎ倒されています。「美味しいものは、先に動物が食べています」余ったものが私たちの口に入るといことがわかりました。

しかし、8月には嬉しいことに、なんと、スイカが収穫できました。「美味しい～」はずだったのですが、割ると「白」。早すぎました。残念無念。

地域のお年寄りに聞きました。

〈スイカの食べごろの見分け方〉

スイカのツルが茶色になるまで待つ。

スイカのお尻がへこむまで待つ。

スイカをたたいて、ボンボンと鈍い音が鳴るまで待つ。

大きくなってから35日待つ。

………そうです『待つ』のです。急がず、騒がず、静かにじっと我慢して待つ。

小さな畑は、私たちのおなかを満たす分だけで十分楽しいのがわかりました。そして「育てる」ということは、「待つ」ことということだと、これも『収穫』、皆さんの活動で教わりました。



認知症なんて怖くない



私たちは『コグニサイズ運動』を始めています。

身体を使う運動課題と頭を働かせる認知課題、この二つを同時に行うことで記憶力の向上、脳内の記憶と学習能力を司る海馬の萎縮を食い止める、改善へと導く可能性に挑戦です。

毎日コツコツ頭と体を同時に使った自宅トレーニングのレクチャー活動です。

何でも、まずは『楽しむ』のが何よりです。

げらげら、ワイワイ、女が三人で姦しい（かしましい）、4人寄れば…や・か・ま・し・た・の・し♪です。笑っているうちに元気が出てきます。

「あっ！出来た！！」みんなでやれば出来る出来る、何もかも出来なくても、何かひとつ出来たら、それは『自信』というゆるぎない武器になります。

やってやれないことはない、やる気が出てくる、頭/体/口をいっぱい使う 毎月の活動プログラムで、**元気に暮らそう**です。

わたし達だからできる「おとしよりからいただいた」いっばいの知恵を添えて、桑山邸だから出来る「多世代」が寄って、今日の体験を『あ・し・た』へ繋いでいきます。

紹介します♪

地域密着型サービス すずらん

小規模多機能型居宅介護 小規模ってどんなことをしてくれるの？

利用者様のご希望に沿って「通い」「訪問」「泊まり」と切れ目のないサービスで在宅生活をサポートしています。独居の高齢者の方の服薬確認や、ご家族が急遽外出しないといけない用事が入って、一人で不安な方の泊まりもできます。柔軟なサービスで利用者様、家族様の力になればと考えています。

<現在の利用者様のサービスを少し紹介したいと思います>

週3回通いを利用され、利用日でない日は、昼・夕の訪問配食。また通いの際、体調が悪く不安なときは、そのまま泊まれることもあります。



カラオケ



大正琴



園芸



夏祭り

グループホーム 今回はボランティアさんをご紹介します♪

すずらんでは毎月地域のボランティアの方に来て頂き楽しい時間をすごされています。ほとんどの方が参加され会話も楽しんで、とてもいい刺激になっています。また行事では今年も夏祭りや流しソーメンといった恒例の行事や敬老会・地域交流会とさまざまなイベントをしました。



ハーモニカボランティア



習字ボランティア



語りべボランティア



フラワーアレンジメント

地域との交流

天神祭で模擬店を出店させてもらったところ、沢山の子どもが遊びに来てくれてとても盛り上がりました。初めてのことでしたが、職員も大変喜び、地域の方との交流もたくさん出来ました。



文化祭



地域交流会



天神祭の様子

月別 献金者 ご芳名

社会福祉法人友愛会のために用いてくださいと募り献金を寄せてくださった方々のご芳名を月別に報告させていただきます。
平成27年4月～平成28年3月までご厚情をいただいた方でございます。(敬称略順不同)

平成27年4月

佐々木初代 京都聖徒教会 鈴木一志 長屋光行 長屋郁子 清水知子 なでしこ美容室 近藤和江 安倍恵子
前濑幸信 清水知子 阿瀬安子

平成27年5月

(有)P.C.SA`ンディング 清水潔 清水宏子 村西伸一 イマニル・チャチ 長屋光行 長屋郁子 京都聖徒教会 藤田抄子
西村久子 安倍恵子 山根芳枝 前濑幸信 清水知子 阿瀬安子

平成27年6月

京都聖徒教会 山脇さかゑ 長屋光行 長屋郁子 野村安彦 安倍恵子 佐々木初代 (有)P.C.SA`ンディング 前濑幸信
清水知子 阿瀬安子

平成27年7月

京都聖徒教会 東愛子 長屋光行 長屋郁子 (有)P.C.SA`ンディング 前濑幸信 清水知子 阿瀬安子 安倍恵子

平成27年8月

長屋光行 長屋郁子 (有)P.C.SA`ンディング 安倍恵子 前濑幸信 清水知子 阿瀬安子

平成27年9月

宮川経裕 京都聖徒協会 近藤和江 本梅町自治会(敬老会お祝金) 本梅町民生児童委員会(敬老会お祝金)
川勝真(敬老会お祝金) 長屋光行 長屋郁子 (有)P.C.SA`ンディング 安倍恵子 前濑幸信 清水知子 阿瀬安子
(職員後援会)

平成27年10月

京都聖徒教会 長屋光行 長屋郁子 稲川はつを 山内政美 清水知子 阿瀬安子 中村祥子 山根芳枝 前濑幸信
安倍恵子 なでしこ美容室

平成27年11月

京都聖徒教会 京都復興教会 西村加寿子 樋口久美子 長屋光行 長屋郁子 前濑浩 前濑浩一
清水知子 桑瀬勝朗 森美由紀 藤井ムツ子 宅間恒子 佐々木初代 (有)P.C.SA`ンディング 田中颯 北村ちず
永田真一 永田真由美 安倍恵子 古祁荘八 一木千鶴子 前濑幸信 安部洋子 阿瀬安子

平成27年12月

京都聖徒教会 安藤千代枝 宮田君夫 藤田抄子 清水ルイ 東愛子 河原林修平 蔭山彰子 長屋光行 長屋郁子
(有)P.C.SA`ンディング 恵産業(株) 関口嗣雄 丹波新生教会 井本保子 安倍恵子 吉中康子 清水潔
本梅町南北老人クラブ 菅恒敏 菅洋子 安部洋子 阿瀬安子 前濑幸信

平成28年1月

(有)加賀商会 100-ハット亀岡店 京都聖徒教会 森完朗 森千代子 長屋光行 長屋郁子 島本礼子福音教会
佐々木初代 野村君子 (有)P.C.SA`ンディング 福知山教会 安倍恵子 前濑幸信 安部洋子 阿瀬安子

平成28年2月

澄川満喜子 京都聖徒教会 長屋光行 長屋郁子 安倍恵子 前濑幸信 安部洋子 阿瀬安子 角谷正

平成28年3月

田井美智子 京都聖徒教会 長屋光行 長屋郁子 安倍恵子 (福)友愛会後援会 (有)P.C.SA`ンディング 山根芳枝
前濑幸信 阿瀬安子 安部洋子 なでしこ美容室

後援会会員名簿



社会福祉法人友愛会後援会の皆様には、平素より格別のご支援を賜り、心よりお礼申し上げます。

「友愛」の機関紙を発行して、後援会員の名簿を掲載し、ご報告に代えさせていただきます。

(平成28年12月1日現在 敬称略五十音順)

浅田英之 芦田信美 東愛子 新久雄 安部洋子 五十嵐洋子 井川英子 石田由香里
 石野多嘉子 伊藤望 伊藤真由美 稲葉久美子 茨木福夫 今井富佐三 今西儀夫 今西光恵
 今村千登士 井本一樹 岩崎純一 岩崎栄子 岩本健二 岩森美知夫 岩森芳晴 植村良彰
 浦野とし子 穎川英宜 王鞍静子 大石迪子 大下美和 太田和子 大西啓造 大西幸子
 大西竹次 大八木末美 岡田淳子 岡林美智代 岡部友子 押本年真 小畑光 小畑幸代
 小畑義 小畑智恵子 角山香織 蔭山佐代子 櫻晴美 柏木尚子 片山清子 片山節子
 桂宏美 金谷恵美子 加納裕崇 上島滋之 亀岡聖書バプテスト教会 川勝沙紀 川坂由佳
 川島浩一 川島奈保美 河原祐輔 川村健司 菅恒敏 菅洋子 北中長夫 北中昇 木下洋子
 木村丈司 京都ハリストス正教会婦人会 倉石賢治 栗田一平 神戸照代 五代喜代美
 小早川広恵 小林久 小林純 小林美矢 小森智仁 小森優香 近藤和江 佐井儀男
 佐伯昌祥 酒井ひとみ 阪口登詩江 坂本直子 佐々木初代 佐橋光子 澤田尚樹
 澤野井慶子 塩貝馨 塩貝咲枝 塩見和江 柴田一馬 清水ルイ 清水潔 清水宏子
 清水敬子 清水知子 清水裕子 新開千恵子 末次薫 菅原千代子 杉萬喜 澄川満喜子
 千足創三 千足和子 千田路子 高木純 高坂洋介 高塚勝 高塚節子 高畑恵子 高屋陽子
 宅間恒子 竹ヶ原政輝 田中顕 北村ちづ 玉村光子 津崎順也 辻井千都勢 寺岡萌子
 寺嶋浩子 堂本直子 遠山ミチ子 内藤久美子 内藤徳男 長尾研司 中川紀子 中川みち
 中澤妙子 長澤佳子 永田真一 永田真由美 中西 俊弘 中野幸男 中野みさ子 中村いく
 中村祥子 中村弘子 中村美恵 鳴瀬慎太郎 西村加寿子 丹羽はるみ 能勢幸浩 野本誠喜
 長谷川すみれ 畑みさ 畑昌平 八田幸子 韓守信 樋口久美子 人見光雄 人見晶子
 人見英津子 平野ふじ江 廣澤悦子 福嶋明美 福庄隆樹 福田朝 福知京子 藤井ムツ子
 藤井操 藤田抄子 藤野孝雄 古庄幸子 堀越千鶴子 前渕幸信 前渕博明 前渕美佐子
 前渕功 前渕豊 松岡千栄子 松尾知恵子 松田徹 松谷トシエ 松田裕子 松本正二
 松本弥生 松本理恵 水谷明子 南勝司 三村幾久子 村上宏 村上すみ子 村上ヨシコ
 村田享子 森美由起 森政肇 森見真次 森見良子 森悠依 安福美代子 山内敏正
 山形なぎさ 山下ヨシヲ 山田サトエ 山田節夫 山田絢子 山田亜津実 山本貴美
 山本富美子 吉田美穂 力石明子 リンカンリチャード・ベル節子